



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月6日

上場会社名 株式会社日本ハウスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1873 URL <http://www.nihonhouse-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 成田 和幸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員(氏名) 高橋 康一 (TEL) 03-5215-9906
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の連結業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	21,258	△17.3	622	△69.7	486	△73.7	267	△77.1
2025年4月期第3四半期	25,698	—	2,054	—	1,846	—	1,167	—

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 513百万円(△58.4%) 2025年4月期第3四半期 1,236百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	6.68	—
2025年4月期第3四半期	29.18	—

(注) 2024年1月25日開催の定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認され2024年4月期より決算期を10月31日から4月30日に変更しております。これに伴い、比較対象となる期間が異なるため、2025年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	41,337	21,911	52.6
2025年4月期	42,396	22,031	51.1

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 21,733百万円 2025年4月期 21,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2026年4月期	—	5.00	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,920	△3.0	1,580	△32.3	1,330	△35.4	700	△38.3	17.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期3Q	40,000,000株	2025年4月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	1,810株	2025年4月期	1,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年4月期3Q	39,998,190株	2025年4月期3Q	39,998,207株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しがみられ、景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、米国の関税政策の動向、世界的な資源・エネルギーおよび原材料価格の高騰、金利上昇ならびに物価上昇等による国内景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、住宅建設費の上昇や物価上昇に伴う消費マインドの低下等を背景に、国土交通省が公表した新設住宅着工戸数の持家は、前年同期比で減少いたしました。

ホテル業界におきましては、国内観光需要の回復に加え、インバウンド需要の増加を背景に、集客に持ち直しの動きがみられるなど、回復基調が継続いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループは以下の取組みを実施いたしました。

住宅事業におきましては、「日本の家の原点回帰」をテーマとした『やまとグレートステージ』を2025年5月に発売いたしました。さらに、2026年2月には商品構成の見直しおよび再整備を実施し、新たに『日本ハウス 檜百年住宅』を発売しております。

本商品は、「檜・構造品質」「高断熱・高気密ゼロエネ品質」「長期保証快適品質」の3つからなる『檜百年住宅 こだわりの3つの品質』をコンセプトとしております。

第一に、「檜・構造品質」では、檜の柱にこだわった木造住宅と、耐震性を高めた新木造ストロング工法を採用し、強固で安心な住まいを実現しております。

第二に、「高断熱・高気密ゼロエネ品質」では、高断熱・高気密仕様に太陽光発電を組み合わせることで、エネルギーの自給自足を目指した住環境を提供しております。

第三に、「長期保証快適品質」では、構造躯体60年保証に加え、感謝訪問（ホームドクターシステム）の充実を図るとともに、冷暖房を標準装備とすることで、長期にわたり安心かつ快適にお住まいいただける体制を整えております。

このように当社は、3世代にわたり居住可能な耐久性と快適性を兼ね備えた、かつての日本の住まいの価値を現代に再構築した住宅を提供しております。

ホテル事業におきましては、オンライントラベルエージェント企画への参画、インバウンド顧客の取り込み、SNSを活用した情報発信の強化、ホテル会員権事業の推進等を通じて、集客力の向上に取り組みました。

また、トランクルーム事業におきましては、日本最大級のレンタルトランクルーム「ハローストレージ」を運営するエリアリンク株式会社と協業し、第一号店である日本ハウスHD名古屋ビル内をはじめ、計17拠点において事業を展開いたしました。

以上の結果、売上高は212億58百万円（前年同期比17.3%減）、営業利益は6億22百万円（前年同期比69.7%減）、経常利益は4億86百万円（前年同期比73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億67百万円（前年同期比77.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 住宅事業

住宅事業につきましては、期首受注残高の減少等により、売上高は179億78百万円（前年同期比20.1%減）、営業利益は13億89百万円（前年同期比51.5%減）となりました。一方で、受注高につきましては建築部門で、165億41百万円（前年同期比3.1%増）と、前年を上回る水準を確保しました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、主に客室稼働率の向上により、売上高は31億62百万円（前年同期比3.1%増）、営業損失は2億86百万円（前年同期の営業損失は3億31百万円）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、太陽光発電事業であり、売上高は1億17百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は91百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産（主に現金預金の減少、及び販売用不動産の増加）の減少6億66百万円、固定資産（主に有形固定資産の減少、及び投資その他の資産の増加）の減少4億25百万円により、前連結会計年度末と比較して10億59百万円減少し、413億37百万円となりました。負債は、流動負債（主に支払手形・工事未払金等の減少、1年内償還予定の社債の減少、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少、その他の流動負債の減少、及び短期借入金の増加、未成工事受入金の増加）の減少20億35百万円、固定負債（主に社債の増加、長期借入金の増加、及びリース債務の減少）の増加10億96百万円により、前連結会計年度末と比較して9億38百万円減少し、194億26百万円となりました。

なお、自己資本は217億33百万円、自己資本比率は52.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の通期連結及び個別業績予想につきましては、2025年6月13日に公表した予想に沿って進捗しており変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,106	4,972
受取手形・完成工事未収入金等	1,214	742
未成工事支出金	522	729
販売用不動産	3,644	4,044
商品及び製品	100	135
原材料及び貯蔵品	389	382
その他	423	726
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,399	11,733
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	45,893	46,201
機械、運搬具及び工具器具備品	4,347	4,350
土地	10,397	10,433
リース資産	3,941	3,876
建設仮勘定	11	47
減価償却累計額及び減損損失累計額	△38,555	△39,525
有形固定資産合計	26,037	25,384
無形固定資産		
552		537
投資その他の資産		
投資有価証券	253	283
長期貸付金	307	302
退職給付に係る資産	1,220	1,364
繰延税金資産	721	510
破産更生債権等	7	7
その他	1,139	1,425
貸倒引当金	△254	△254
投資その他の資産合計	3,395	3,639
固定資産合計	29,985	29,560
繰延資産		
社債発行費	11	43
繰延資産合計	11	43
資産合計	42,396	41,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,788	2,103
短期借入金	2,472	3,038
1年内償還予定の社債	1,640	130
1年内返済予定の長期借入金	356	386
リース債務	369	344
未払法人税等	463	26
未成工事受入金	1,648	2,237
完成工事補償引当金	135	127
賞与引当金	519	161
その他	2,241	2,043
流動負債合計	12,633	10,598
固定負債		
社債	-	1,170
長期借入金	4,795	4,989
リース債務	705	427
繰延税金負債	34	34
役員退職慰労引当金	806	827
退職給付に係る負債	108	106
資産除去債務	484	477
その他	796	795
固定負債合計	7,731	8,828
負債合計	20,365	19,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,873	3,873
資本剰余金	29	29
利益剰余金	17,656	17,483
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,558	21,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	51
繰延ヘッジ損益	131	300
退職給付に係る調整累計額	△42	△4
その他の包括利益累計額合計	115	347
非支配株主持分	358	177
純資産合計	22,031	21,911
負債純資産合計	42,396	41,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
売上高	25,698	21,258
売上原価	14,562	11,889
売上総利益	11,136	9,369
販売費及び一般管理費	9,081	8,746
営業利益	2,054	622
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	5	104
貸倒引当金戻入額	0	0
雑収入	27	15
営業外収益合計	37	129
営業外費用		
シンジケートローン手数料	12	10
支払利息	133	144
社債発行費償却	14	12
雑支出	86	97
営業外費用合計	246	265
経常利益	1,846	486
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	99	11
特別損失合計	101	11
税金等調整前四半期純利益	1,744	478
法人税、住民税及び事業税	279	64
法人税等調整額	282	132
法人税等合計	562	196
四半期純利益	1,182	281
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,167	267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	1,182	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	25
繰延ヘッジ損益	38	169
退職給付に係る調整額	5	37
その他の包括利益合計	54	232
四半期包括利益	1,236	513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,221	499
非支配株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2024年5月1日至2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅事業	ホテル事業	その他事業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	22,513	3,066	118	25,698	—	25,698
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	—	20	△20	—
計	22,513	3,087	118	25,719	△20	25,698
セグメント利益 又は損失(△)	2,861	△331	92	2,622	△567	2,054

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△567百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△558百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2025年5月1日至2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅事業	ホテル事業	その他事業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	17,978	3,162	117	21,258	—	21,258
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	—	39	△39	—
計	17,978	3,201	117	21,297	△39	21,258
セグメント利益 又は損失(△)	1,389	△286	91	1,193	△571	622

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△571百万円には、セグメント間取引消去△16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△554百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
減価償却費	1,140百万円	1,132百万円

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

住宅事業及びホテル事業は、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

② 受注状況

当社グループでは、当社の受注が大部分を占めているため、当社の受注状況を記載しております。

当第3四半期連結累計期間における受注の状況は、次のとおりであります。

セグメントの名称	部門別	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)
住宅事業	建築部門	16,541	+3.1
	不動産部門	1,339	△25.3
	計	17,880	+0.3

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
住宅事業	17,978	△20.1
ホテル事業	3,162	+3.1
その他事業	117	△0.7
計	21,258	△17.3

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 総販売実績に対する割合が10%以上の相手先はありません。